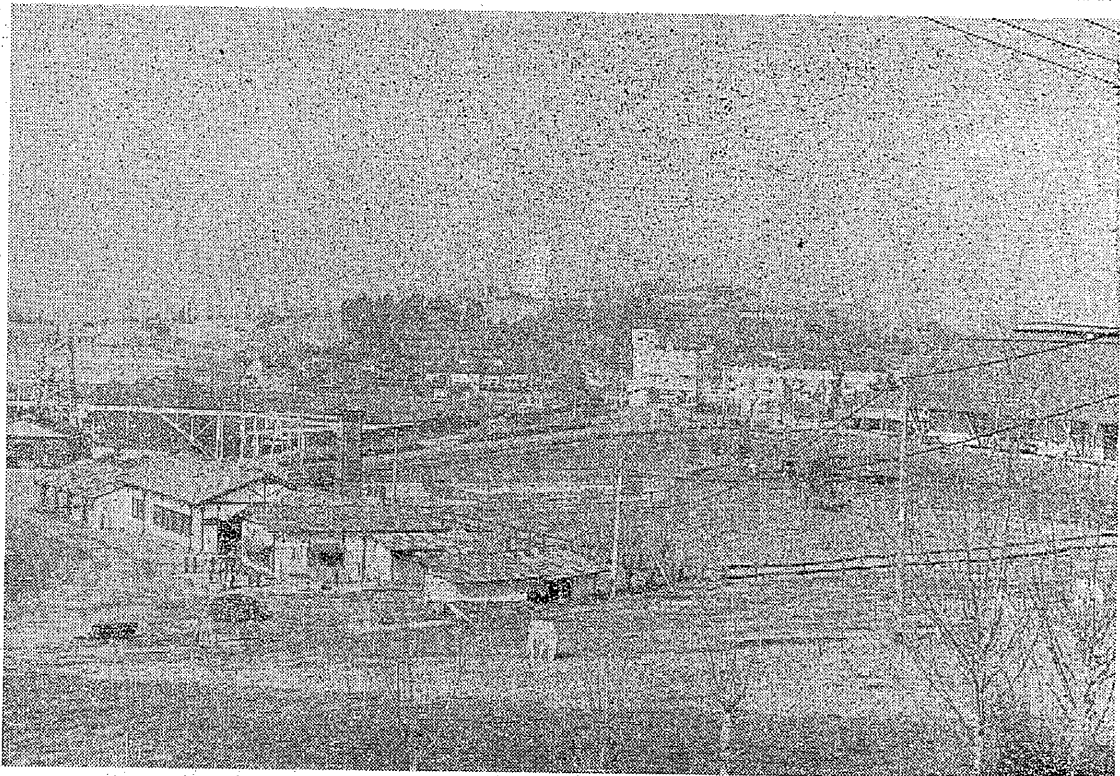




三井グリーンランドの遊園地。休みともなれば、北九州市などからさえ、子どもたちが夢を求めてはバスでやつてくる。こんどは「くじら博」をやるといふ。その入場料だけで1,000円(大人で当日売り)。子どもは安くならないといつても、それだけですむことはない。

グリーンランドに怨嗟の声

地元住民は優遇せよ

余りな、子ども相手の暴利

統一地方選挙の足音が近づくにつれ、大牟田と荒尾の両市を支配する三井独占資本の社会的責任を追及する声が、日まに高くなっている。なかでも、三井が荒尾で経営している遊園地「三井グリーンランド」に怨嗟の声が集まっている。

そこは――

百姓の土地だった

「三井グリーンランドはひとが遊ぶ。遊びにやってくる幼い子どもたちから暴利をむさぼってきただけで、今年からは車の駐車料までとらたてるようになった。大牟田市立動物園とくらべて全然なさい、グリーンランドがいかに暴利をむさぼっているか一目瞭然です。ましてあそこらの土地といえば、太平洋戦争中、三井が百姓さんたちから二、三文の代金で、半強制的に買収したわけですよ。こんな暴利主義に対しては、地元住民として我慢ができませんよ」

一組合員が、ついこのころの憤然たる面もちで語った。

「三井グリーンランド」。それは荒尾市の東端、下井手、藤牧に、三井独占資本が経営する子ども相手の遊園施設。施設内には山あり湖ありで、その間を縫うようにしてウェスタン列車やジェットコースター、ゴーカートなどありとあらゆる遊びものが、遠近の子どまを招き寄せている。そこにはホテルやゴルフ場など大人向けの施設もあるが……。

このグリーンランドについて、別の組合員がまたこんな話をもってきた。

私のふるさと

三井指導部 高橋保子

つが田川です」と教えられ、私は、まるで懐かしいものでも見るように、じっと遠くの山を眺め続けていました。別に知人がその地にいたわけでもなく、まして一度も足を踏み入れたこともない田川という地名がどうしてこんなにも私の心にしみこんでいるのでしょうか。私はそっと、自分に問い返して見ました。

やがてそれは、私が「炭鉱の母ちゃんだからのだ」と、気づかずに、自分が問い返して見ました。

過去、思い出と重なって、心のはやばり、炭鉱労働者の妻としての仲間意識が、私の胸を「たたんだ」と、しみじみ思いつたことでした。

人生の最盛期の妻も、こも災害がくり返される度に、「もて、とぶりと私の心にしみこめていつまでもそんな故郷であってほしいな」と、心から願うこの頃です。

「三井が国の権力を使って、荒尾でやったことはひどかったですよ。お百姓さんたちから買上げた土地の代金が、なんと坪でたった六十銭から五十銭くらいだったんですよ。それも、買上げた土地を整理する段になると、隣組単位に人員を割当てて、整地作業に駆り出しました。当時人手がな

日遊んだとしても、ぐくぐくかな出費ですむ。たとえ私経営だといえ、これでは「グリーンランドは暴利をむさぼっている」と非難されるのも当然。

最後に、前記の組合員の意見を紹介します。

「三井にいくら人間の心があつたなら、グリーンランドの入園料を半額にする、といつたことくらい考えて当たりまえ。駐車料をとるなど、もてのほか。このデパートも、五百円の品物を買えば駐車料はタダだ。グリーンランドも、入園料払った客からの駐車料取り立てなど、今日からでもやめよといいたす」

植えかえについて

盆栽の、ほんとうの可愛がり方は？

東京駐在の炭力、保持蓄力がありません。した、労働記次長古賀育で、いつまでもそのままで成育できるはずがありません。そこで、植えかえが必要になってきます。盆栽は、枯れるというよりも、枯らすことの方が多いのです。

植えかえは樹種、樹木、老若木等により時期、方法などいろいろありますが、今回は、盆栽の土を媒体として成育して、長くそのままだとおくと、土は養分を失い(肥料とは違)、鉢内には根がはいり、これ以上新根を下す余地がない状態になります。このようになると、いかに灌水・施肥してもその時はばかりに灌水・施肥してもその時はばかりに灌水・施肥しても、古土に多い害給を兼ねるもので、古土に多い害



この頃、三井指導部の田上勇さんの担当です。なお、この欄へのご意見なりご希望なりがあまりしただけ連絡を。(社内電話五七六・四七四番)